

【JST 女子中高生の理系進路選択支援プログラム】
「香川大学ダイバーシティ&サイエンス 理系選択応援プロジェクト」
出前講座<高松市立牟礼中学校 Vol.2>実施報告

日 時:2023年12月11日(月) 14:30~15:20
会 場:高松市立牟礼中学校
講 師:香川大学農学部 教授 野村美加
香川大学農学研究科 大学院1年 Bafeo Michelle
参加者数:中学1年生 54名、教員3名

香川大学ダイバーシティ&サイエンス理系選択応援プロジェクトの第5回目の出前講座を、12月11日、高松市立牟礼中学校で開催しました。参加者は中学1年生の男女54名と教員3名でした。

まず始めに、植物栄養学がご専門の野村先生（農学部教授）から、ご自身の理系キャリアについて紹介がありました。

続いて、「植物は会話をしているって知っていましたか？」というテーマで、講義をしていただきました。講義では、事前にバナナやジャガイモをリンゴと一緒に密閉袋で保管したものと、リンゴを入れずに保管したものを、触ったり、見たりして、状態を比べてみました。リンゴが発する「エチレン」の作用により、リンゴを入れない場合に比べ、バナナは早く熟し（黒く変色）、ジャガイモは発芽を抑えられることが分かりました。

植物もシグナルを放出することで、会話（コミュニケーション）しているということを体験することができました。その他、世界最大と言われるモダマのサヤや、その他たくさんの種類の豆を手にとって興味深く見ていました。

野村先生の講義後、今年9月にパプアニューギニアから来日した大学院生のBafeoさんから、パプアニューギニアの紹介や、日本に来たきっかけなどを英語でお話いただきました。

アンケートでは、「実物を見せてくれて分かりやすかった」（中学生）などの声が寄せられました。



野村先生による講義



様々な種類の豆を手取る生徒



Bafeo さんによるキャリアトーク